



研修視察報告書

2019年7月9日

[無党派]

代表者氏名	三原 淳子 	記録者氏名	三原 淳子 
視察者氏名	三原 淳子		
視察日	2019年4月23日(火) ~ 年 月 日()		
視察先	伊賀市役所		
目的	地域交通について伊賀市の取り組みを調査。		

視察概要

10時から伊賀市庁舎内で伊賀市交通課担当職員から説明を聞き、11時30分から伊賀庁舎前のバス停で現地視察を行った。

今回は地域循環バス「L.S.T.号」を中心とした調査であった。名張市にある「アッキー号」のルートの見直し、2回運行の要望がある。住民の声を地域交通に反映させる取り組みを考へていくため、全市的の公共交通のあり方を3日間で調査・検討していく。

(詳細別紙)



伊賀市内バス運送形態(有償運送)

① 道路運送法第4条による乗り合い旅客を運送

一般乗合旅客自動車運送事業(運送主体は運送事業者) 緑ナンバー(事業用)

上野コミュニティバス「しらさぎ」、かんべ地区地域運送バス「かんべ北斗号」がある。

「しらさぎ」は、H15年4月運行開始、外回り、内回り循環の2系統で運行。

H20年1月、運賃改定(100円から200円へ)

運賃収入は130万円増収となったが、利用者は14000人減少。

H24年8月、北回り循環系統を新設し商業施設、医療施設へのアクセスを図った。

H26年10月、イオンタウン開業に伴い、ルート変更、ダイヤ改正。

H31年1月、全日統一ルート、外回り循環北回り循環の統合、伊賀市役所四十九駅へのアクセス、朝夕の路線バスへの接続対応

利用者は人口減少の影響もあり、H27年度26,145人がH29年度25,855人、H30年度も4千人減の見込み。

H30年度予算額、運行業務委託料 36,015千円

H31年度当初予算額、運行業務委託料 38,084千円

② 道路運送法第79号による、自家用車で行う

自家用有償旅客運送{交通空白運送}(運営主体は市町村) 白ナンバー(自家用)

阿山行政サービス巡回車、大山田行政サービス巡回車、いがまち行政サービス巡回車、島ヶ原行政サービス巡回車

バス路線再編にあたり、市職員が全便試乗調査を行い、乗客への聞き取り調査を行い、利便性の向上を常に検討する姿勢がある。運賃については、利用者負担を求めるが、誰もが安全で円滑に快適に移動することができる輸送サービスの提供を考慮し、現在の金額(200円)としていた。

商業施設、病院の立地条件をふまえ、住民の声を聴きながらルート変更や、他のバスへの乗り継ぎなども考慮しダイヤ改正に取り組んでいる。住民の暮らしの交通機関を守るという考え方がしっかりとしていた。

商業施設が国道沿いに集中し、それぞれの地域の小売店がなくなり、交通機関を使わなければ日常の暮らしに必要な買い物ができない。高齢化で自家用車の運転も心配される。このような現状で地域交通の充実は不可欠である。名張市においても、地域住民の交通を地域まちづくりで推進されてきた。しかしながら地域まちづくり組織にも限界がある。地域の助け合いに委ねるだけでなく、行政として係わり利便性の向上に力を注ぐよう提案していく参考となった。